

第 2 期 報 告 書

〔 平成29年 4 月 1 日から平成30年 3 月31日まで 〕

一 般 財 団 法 人 明 治 安 田 健 康 開 発 財 団

東京都新宿区西新宿一丁目 8 番 3 号

目 次

第2期事業報告（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

I. 事業の概況	1
II. 理事会に関する事項	12
III. 評議員会に関する事項	16
IV. 寄附に関する事項	18

第2期決算報告（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

I. 貸借対照表	19
II. 正味財産増減計算書	20
III. 財務諸表に対する注記	24
IV. 附属明細書	26
V. 財産目録	27
VI. 監査報告書	29

第3期事業計画（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）

I. 基本方針	30
II. 実行計画	30
III. 収支予算書	32

第 2 期 事 業 報 告

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

I. 事業の概況

平成28年12月1日をもって弊健康開発財団は公益財団法人明治安田厚生事業団から分離独立した。平成29年4月1日より人間ドック（健診）事業を一般財団法人明治安田健康開発財団として開始した。人間ドック（健診）事業においては、広く一般の健康増進に寄与するため、健診の普及啓発を推進し、明治安田厚生事業団と連携して健診データを活用した調査研究活動に取り組んだ。

明治安田生命グループの一員として、収益態勢の強化と健康増進の広報活動に取り組んだ。新健診システム導入後の事務効率の改善および環境整備等の受診者サービスの向上に努めた結果、満足度アンケート調査において高い満足度を得られた。

受診勧奨に向けて、人間ドック受診者への「誕生日ハガキ」、各種DMの発信やホームページのリニューアル、Web予約の拡充により総受診者は15,174人と増加し、健診収入も大きく伸びた。

特に、3Dマンモグラフィの導入は、乳がん健診を促進した。午後の時間を活用した単科健診（乳がん、婦人科）の拡大実施は受診者増に繋がった。

ウェルネス事業として運営していたMYヘルス会は第3期終了後、12月1日から「MYヘルス倶楽部」と改称して移管され、国民健康保険加入者や高齢者等に対する健診普及を目的とした会員制度として新たにスタートをした。

明治安田生命健康保険組合の協力を得て「座り過ぎ」と「活発度」を測定する「MYライフ・ドック（TM）」は約1,600名の情報を収集した。今後は「MYライフ・ドック（TM）」の企業・団体への展開も視野に個人向けレポート、法人向けレポートの提供等で人間ドックの付加価値向上を目指す。

1. 第2期（平成29年度）人間ドック（健診）事業等受診状況

公益財団法人明治安田厚生事業団の、第5期事業年度まで使用した人間ドック業務は、一般財団法人明治安田健康開発財団における本来事業であるため、第2期の事業年度より「人間ドック（健診）事業」に名称を変更した。

（1）性・健診コース別受診者数

表1は、平成29年度（第2期）と平成28年度（第5期）の受診者数を性・健診コース別の受診者数とその割合を示したものである。なお、各健診コースの内容は以下のとおりである。

「人間ドック」は日本人間ドック学会で定められている基本検査項目を全て満たしているコース、「生活習慣病健診」は人間ドックのコースの検査項目から腹部超音波や一部の血液項目が検査されていないコース、「定期健康診断等」は労働安全衛生規則により定められている項目ならびにそれに準ずるコース、そして、「その他の健診」は婦人科、乳腺などの単独の健診や区民健診などである。

表 1. 平成 29 年度（健康開発財団第 2 期）・平成 28 年度（厚生事業団第 5 期）の
性・健診コース別受診者数と平均年齢

		平成 29 年度（第 2 期）						平成 28 年度（第 5 期）					
		男性		女性		合計		男性		女性		合計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
受診者数	人間ドック	5,542	77.6	5,740	71.5	11,282	74.4	5,351	80.1	5,100	74.6	10,451	77.4
	生活習慣病健診	596	8.3	942	11.7	1,538	10.1	598	9.0	820	12.0	1,418	10.5
	定期健康診断等	901	12.6	761	9.5	1,662	11.0	678	10.2	636	9.3	1,314	9.7
	その他の健診	107	1.5	585	7.3	692	4.6	51	0.8	277	4.1	328	2.4
	合 計	7,146	100	8,028	100	15,174	100	6,678	100	6,833	100	13,511	100
平均年齢 (歳)	人間ドック	52.2		51.9		52.0		52.3		52.1		52.2	
	生活習慣病健診	47.6		48.6		48.2		46.8		48.4		47.7	
	定期健康診断等	31.1		31.5		31.3		30.2		30.5		30.4	
	その他の健診	38.6		44.5		43.6		43.1		47.8		47.1	
	合 計	48.9		49.0		49.0		49.5		49.5		49.5	

- 1) 平成 29 年度（第 2 期）の各健診コース合計の受診者数は 15,174 人で、平成 28 年度（第 5 期）に比べ、男性が 468 人、女性が 1,195 人とともに増加し、男女合計では 1,663 人増加した。
- 2) 平成 29 年度は女性の受診割合が合計前年よりもさらに増加した。
- 3) 各健診コースの受診人数は、男性の生活習慣病健診以外、全て増加した。
- 4) 表 1 には各コースの平均年齢を示した。男女とも人間ドックのコースは 50 歳代前半、生活習慣病コースは 40 歳代後半、定期健康診断等のコースは 30 歳代前半であったが、全体として受診者年齢は下がった。

(2) 性・月別受診者数

表 2 は平成 29 年度（第 2 期）と平成 28 年度（第 5 期）の性・月別受診者数とその割合を示したものである。

表 2. 平成 29 年度（健康開発財団第 2 期）・平成 28 年度（厚生事業団第 5 期）の
性・月別受診者数

	平成 29 年度（第 2 期）						平成 28 年度（第 5 期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
4 月	255	3.6	325	4.0	580	3.8	280	4.2	257	3.8	537	4.0
5 月	379	5.3	433	5.4	812	5.4	341	5.1	300	4.4	641	4.7
6 月	766	10.7	780	9.7	1,546	10.2	755	11.3	734	10.7	1,489	11.0
7 月	695	9.7	746	9.3	1,441	9.5	633	9.5	763	11.2	1,396	10.3
8 月	729	10.2	771	9.6	1,500	9.9	646	9.7	647	9.5	1,293	9.6
9 月	823	11.5	1,032	12.9	1,855	12.2	720	10.8	856	12.5	1,576	11.7
10 月	800	11.2	1,001	12.5	1,801	11.9	843	12.6	934	13.7	1,777	13.2
11 月	723	10.1	821	10.2	1,544	10.2	623	9.3	677	9.9	1,300	9.6
12 月	471	6.6	651	8.1	1,122	7.4	457	6.8	451	6.6	908	6.7
1 月	495	6.9	458	5.7	953	6.3	504	7.5	380	5.6	884	6.5
2 月	559	7.8	495	6.2	1,054	6.9	474	7.1	411	6.0	885	6.6
3 月	451	6.3	515	6.4	966	6.4	402	6.0	423	6.2	825	6.1
合計	7,146	100.0	8,028	100.0	15,174	100.0	6,678	100.0	6,833	100.0	13,511	100.0

- 1) 平成 29 年度（第 2 期）は全ての月において平成 28 年度（第 5 期）より増加した。
- 2) 平成 29 年度（第 2 期）の健診稼働日は、245 日（男性 124 日、女性 121 日）と、10 日増加したが、受診者増加により 1 日の平均受診者数は 61.9 人（男性 57.6 人、女性 66.3 人）と増加した。

- 3) 平成 29 年度（第 2 期）の 1 日平均受診者数は、最少 4 月が 29.0 人（男性 25.5 人、女性 32.5 人）、最大 9 月が 84.3 人（男性 82.3 人、女性 86.0 人）と格差は課題ながら、月別受診者 1,000 名以上は 8 ヶ月（前年 +2 ヶ月）と受診者増に併せて平準化も推進された。

(3) 性・年齢階級別受診者数

表 3 は、平成 29 年度（第 2 期）と平成 28 年度（第 5 期）の受診者数を性・年齢階級別にしたものである。

表 3. 平成 29 年度（健康開発財団第 2 期）・平成 28 年度（厚生事業団第 5 期）の
性・年齢階級別受診者数

	平成 29 年度（第 2 期）						平成 28 年度（第 5 期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
29 歳以下	486	6.8	531	6.6	1,017	6.7	365	5.5	372	5.4	737	5.5
30 - 39 歳	1,152	16.1	1,231	15.3	2,383	15.7	1,032	15.5	1,016	14.9	2,048	15.2
40 - 49 歳	2,178	30.5	2,414	30.1	4,592	30.3	2,113	31.6	2,077	30.4	4,190	31.0
50 - 59 歳	1,796	25.1	2,228	27.8	4,024	26.5	1,651	24.7	1,886	27.6	3,537	26.2
60 - 69 歳	1,152	16.1	1,251	15.6	2,403	15.8	1,136	17.0	1,160	17.0	2,296	17.0
70 歳以上	382	5.3	373	4.6	755	5.0	381	5.7	322	4.7	703	5.2
合 計	7,146	100	8,028	100	15,174	100	6,678	100	6,833	100	13,511	100

- 1) 平成 29 年度（第 2 期）と平成 28 年度（第 5 期）の年齢階級別の受診者を比較し全年齢階級で男性・女性ともに増加した。
- 2) 午後の単科健診（乳がん・婦人科）の受診者増により 60 歳未満の女性について、大きく増加した。

(4) 性・受診回数別受診者数

表 4 は、平成 29 年度（第 2 期）と平成 28 年度（第 5 期）の受診者数を性別に受診回数とその割合を示したものである。

表 4. 平成 29 年度（健康開発財団第 2 期）・平成 28 年度（厚生事業団第 5 期）の
性・受診回数別受診者数

	平成 29 年度（第 2 期）						平成 28 年度（第 5 期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
初回受診	1,555	21.8	2,039	25.4	3,594	23.7	1,131	16.9	1,215	17.8	2,346	17.4
2 回	730	10.2	927	11.5	1,657	10.9	756	11.3	705	10.3	1,461	10.8
3 回	581	8.1	583	7.3	1,164	7.7	555	8.3	565	8.3	1,120	8.3
4 回	463	6.5	485	6.0	948	6.2	500	7.5	473	6.9	973	7.2
5 回	419	5.9	434	5.4	853	5.6	379	5.7	477	7.0	856	6.3
6 - 9 回	1,372	19.2	1,507	18.8	2,879	19.0	1,435	21.5	1,553	22.7	2,988	22.1
10 - 14 回	1,130	15.8	1,296	16.1	2,426	16.0	1,041	15.6	1,132	16.6	2,173	16.1
15 - 19 回	457	6.4	449	5.6	906	6.0	457	6.8	406	5.9	863	6.4
20 - 24 回	254	3.6	176	2.2	430	2.8	235	3.5	178	2.6	413	3.1
25 - 29 回	124	1.7	89	1.1	213	1.4	123	1.8	91	1.3	214	1.6
30 回以上	61	0.9	43	0.5	104	0.7	66	1.0	38	0.6	104	0.8
合 計	7,146	100	8,028	100	15,174	100	6,678	100	6,833	100	13,511	100

- 1) 平成 29 年度（第 2 期）は、初回受診者に着目すると、1,246 人（男性 422 人、女性 824 人）増加していた。特に乳がん、婦人科の推奨により女性が大きく増加した。
- 2) 平成 29 年度（第 2 期）は、前年度に比べ、受診回数「4 回、5 回、6-9 回」について 135 人減少（男性 58 人、女性 77 人）したが、受診回数「10 回以上」は 312 人（男性 104 人、女性 208 人）増加した。
- 3) 健診センターが設立されてから 43 年が経過した中で、「30 回以上」の受診者数は男性で 61 人（0.9%）、女性で 43 人（0.5%）であった。

(5) 契約健保・団体、個人一般からの受診状況

表 5 は、契約健康保険組合と事業所団体（健保・団体）、ならびに個人（一般・個人）からの受診状況を示したものである。なお、表に示した健診コースである「新宿区民健診」、「リレー（健保・団体脱退）」も一般・個人の受診であるが、これら 2 つのコースの受診状況を示すために個別に掲載した。

表 5. 平成 29 年度（健康開発財団第 2 期）・平成 28 年度（厚生事業団第 5 期）の
性・契約（一般・団体）別受診者数

	平成 29 年度（第 2 期）						平成 28 年度（第 5 期）					
	男性		女性		合計		男性		女性		合計	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
新宿区民健診	1	0.0	62	0.8	63	0.4	0	0.0	32	0.5	32	0.2
リレー(健保・団体脱退)	60	0.8	47	0.6	107	0.7	90	1.3	76	1.1	166	1.2
一般・個人	76	1.1	174	2.2	250	1.6	78	1.2	81	1.2	159	1.2
健保・団体	7,009	98.1	7,745	96.5	14,754	97.2	6,510	97.5	6,635	97.1	13,145	97.3
合計	7,146	100	8,028	100	15,174	100	6,678	100	6,833	100	13,511	100

- 1) 契約健康保険組合と事業所団体（健保・団体）からの平成 29 年度（第 2 期）の受診者割合は 97.2%と前年度より減少したが、人数は 1,609 人増加した。
- 2) 新宿区民健診は平成 23 年度より開始した健診であるが、平成 29 年度（第 2 期）の受診者数は 63 人と増加した。
- 3) 「リレー」は健康保険組合を脱退された方や事業所からの健診補助金がなくなった方が継続して受診できるように配慮したものであるが、「マイヘルス会（12 月以降は「MYヘルス倶楽部」）」へ受診者の区分変更もあり、平成 29 年度（第 2 期）は 59 人減少した（平成 28 年度は 41 名減少）。
- 4) 平成 26 年度 12 月に公益事業として創設された「マイヘルス会」は、平成 29 年 12 月に財団に移管して「MYヘルス倶楽部」となったが、受診者数は前年同様「健保・団体」に含まれている。

(6) 性・年齢階級別腹部超音波・上部消化管（X線・内視鏡）検査の受診状況

表6は性・年齢階級別の腹部超音波、上部消化管X線、上部消化管内視鏡による各検査の受診者数とその割合を示したものである。

表6. 平成29年度（健康開発財団第2期）・平成28年度（厚生事業団第5期）の
性・年齢階級別腹部超音波・上部消化管（X線・内視鏡）検査受診状況

(男性)

	受診者数	平成 29 年度（第 2 期）						受診者数	平成 28 年度（第 5 期）					
		腹部超音波		上部消化管 X 線		上部消化管内視鏡			腹部超音波		上部消化管 X 線		上部消化管内視鏡	
		人	%	人	%	人	%		人	%	人	%	人	%
29 歳以下	486	36	7.4	26	5.3	4	0.8	365	42	11.5	31	8.5	6	1.6
30 - 39 歳	1,152	616	53.5	519	45.1	175	15.2	1,032	581	56.3	562	54.5	92	8.9
40 - 49 歳	2,178	2,049	94.1	1,517	69.7	521	23.9	2,113	1,990	94.2	1,654	78.3	323	15.3
50 - 59 歳	1,796	1,723	95.9	1,202	66.9	478	26.6	1,651	1,584	95.9	1,188	72.0	339	20.5
60 - 69 歳	1,152	1,092	94.8	676	58.7	346	30.0	1,136	1,097	96.6	750	66.0	269	23.7
70 歳以上	382	370	96.9	186	48.7	116	30.4	381	373	97.9	198	52.0	97	25.5
合 計	7,146	5,886	82.4	4,126	57.7	1,640	22.9	6,678	5,667	84.9	4,383	65.6	1,126	16.9

(女性)

	受診者数	平成 29 年度（第 2 期）						受診者数	平成 28 年度（第 5 期）					
		腹部超音波		上部消化管 X 線		上部消化管内視鏡			腹部超音波		上部消化管 X 線		上部消化管内視鏡	
		人	%	人	%	人	%		人	%	人	%	人	%
29 歳以下	531	40	7.5	24	4.5	8	1.5	372	32	8.6	20	5.4	5	1.3
30 - 39 歳	1,231	710	57.7	496	40.3	191	15.5	1,016	589	58.0	497	48.9	91	9.0
40 - 49 歳	2,414	2,003	83.0	1,366	56.6	563	23.3	2,077	1,791	86.2	1,352	65.1	375	18.1
50 - 59 歳	2,228	1,907	85.6	1,209	54.3	531	23.8	1,886	1,642	87.1	1,155	61.2	323	17.1
60 - 69 歳	1,251	1,098	87.8	596	47.6	321	25.7	1,160	1,050	90.5	707	60.9	202	17.4
70 歳以上	373	332	89.0	164	44.0	85	22.8	322	296	91.9	169	52.5	64	19.9
合 計	8,028	6,090	75.9	3,855	48.0	1,699	21.2	6,833	5,400	79.0	3,900	57.1	1,060	15.5

- 1) 平成29年度（第2期）の腹部超音波検査の実施率は男性が82.4（前年84.9）%、女性が75.9（前年79.0.）%と、前年度に比べ低くなった。定期健康診断や生活習慣病健診を受診する29歳以下、乳房検診、婦人科検診の単科受診の増加で、人間ドック受診者の割合が低下し実施率は低下した。
- 2) 上部消化管X線検査の実施率は、前年度に比べ男女とも低下し、逆に上部消化管内視鏡検査の実施者ならびに実施率は男女とも増加・上昇した。

(7) 女性の婦人科検診、乳房検査の実施状況

表7は女性の婦人科検診、乳房検診の実施状況、ならびに乳房検診におけるエコー（超音波）とマンモグラフィの実施者数と実施率を示したものである。

表7. 平成29年度（健康開発財団第2期）・平成28年度（厚生事業団第5期）の
年齢階級別婦人科検診・乳腺検診受診状況

	受診者数	平成29年度（第2期）							
		婦人科検診		乳房検診		エコー		マンモグラフィ	
		人	%	人	%	人	%	人	%
29歳以下	531	98	18.5	142	26.7	139	26.2	9	1.7
30－39歳	1,231	660	53.6	918	74.6	824	66.9	149	12.1
40－49歳	2,414	1,607	66.6	1,963	81.3	1,055	43.7	1,251	51.8
50－59歳	2,228	1,426	64.0	1,738	78.0	794	35.6	1,195	53.6
60－69歳	1,251	810	64.7	989	79.1	419	33.5	689	55.1
70歳以上	373	219	58.7	267	71.6	123	33.0	171	45.8
合 計	8,028	4,820	60.0	6,017	75.0	3,354	41.8	3,464	43.1

	受診者数	平成28年度（第5期）							
		婦人科検診		乳房検診		エコー		マンモグラフィ	
		人	%	人	%	人	%	人	%
29歳以下	372	63	16.9	82	22.0	80	21.5	2	0.5
30－39歳	1,016	592	58.3	748	73.6	674	66.3	89	8.8
40－49歳	2,077	1,474	71.0	1,684	81.1	868	41.8	979	47.1
50－59歳	1,886	1,244	66.0	1,457	77.3	520	27.6	990	52.5
60－69歳	1,160	763	65.8	898	77.4	302	26.0	614	52.9
70歳以上	322	182	56.5	230	71.4	96	29.8	143	44.4
合 計	6,833	4,318	63.2	5,099	74.6	2,540	37.2	2,817	41.2

- 1) 平成29年度（第2期）の年齢階級別で29歳以下は、婦人科検診18.5%（前年16.9%）、乳房検診26.7%（前年22.0%）、エコー26.2%（前年21.5%）、マンモグラフィ1.7%（前年0.5%）と全ての健診で実施率は上昇した。
- 2) 検診の実施率が最も高かった年齢階級は、前年度と同様40-49歳代であった。
- 3) 乳房検診では、40歳以上の受診者にはマンモグラフィを勧奨していることもあり、エコーの実施率は30-39歳が最も高く（66.9%）、40-49歳からマンモグラフィの実施率が高くなる（51.8%）。
- 4) 40-49歳の受診者は、併用推奨によりエコーの実施者が43.7（前年41.8）%と上昇した。

(8) 性・検査対象疾患別の判定結果

表8は、人間ドック学会統計に準じて検査対象疾患別の判定結果を男女別に示したものである。平成29年度（第2期）より変更された学会統計区分により集計した。

なお、判定は以下の通り人間ドック学会の判定基準に準拠した。

- C : 生活習慣の改善ならびに経過観察が必要
- D1 : 治療が必要
- D2 : 精密検査が必要
- E : 継続治療

表 8. 平成 29 年度（健康開発財団第 2 期）・平成 28 年度（厚生事業団第 5 期）の
性・検査対象疾患別判定結果

			平成 29 年度（第 2 期）				平成 28 年度（第 5 期）			
疾 患 名	検査方法	性別	判 定 区 分（％）				判 定 区 分（％）			
			C	D 1	D 2	E	C	D 1	D 2	E
肥 満（過 体 重）	身 体 測 定	男	29.8	0.0	0.0	0.0	28.3	0.0	0.0	0.0
		女	14.7	0.0	0.0	0.0	14.6	0.0	0.0	0.0
呼 吸 器 疾 患	胸 部 X 線	男	1.4	0.0	1.0	0.0	1.7	0.0	0.8	0.1
		女	1.3	0.1	1.1	0.1	1.2	0.1	0.9	0.1
高 血 圧	血 圧 測 定	男	8.3	2.4	0.0	17.0	9.6	2.5	0.0	16.9
		女	3.8	0.8	0.0	8.6	4.1	0.7	0.0	8.6
高コレステロール	血 液 生 化 学	男	24.3	4.2	0.0	0.0	24.2	3.6	0.0	0.0
		女	20.9	3.5	0.0	0.0	20.8	3.6	0.0	0.0
高 中 性 脂 肪	血 液 生 化 学	男	7.2	0.4	0.0	0.0	6.9	0.4	0.0	0.0
		女	2.1	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0
高 尿 酸	血 液 生 化 学	男	7.1	1.2	0.0	6.8	6.6	0.8	0.0	6.0
		女	0.6	0.0	0.0	0.2	0.5	0.1	0.0	0.1
心 電 図 異 常	心 電 図	男	8.6	0.0	1.2	0.7	8.6	0.0	1.1	0.8
		女	6.6	0.0	0.7	0.1	6.5	0.0	0.7	0.1
食 道 疾 患	胃 部 X 線 胃 部 内 視 鏡	男	2.5	0.0	0.3	0.0	1.3	0.0	0.5	0.0
		女	2.5	0.0	0.1	0.0	1.7	0.0	0.4	0.0
胃 疾 患	胃 部 X 線 胃 部 内 視 鏡	男	21.6	0.0	1.8	0.0	19.6	0.0	2.6	0.0
		女	30.0	0.0	1.6	0.0	28.6	0.0	2.0	0.0
十 二 指 腸 疾 患	胃 部 X 線	男	2.0	0.0	0.1	0.0	2.1	0.0	0.1	0.0
		女	0.8	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
胆石・胆のうポリープ	腹 部 超 音 波	男	27.9	0.0	1.5	0.1	27.8	0.0	1.6	0.0
		女	19.7	0.0	1.2	0.0	19.6	0.0	1.2	0.0
肝 機 能 障 害 （ 脂 肪 肝 含 ）	血 液 生 化 学 腹 部 超 音 波	男	37.1	0.0	5.0	0.5	37.6	0.0	4.6	0.5
		女	13.4	0.0	0.7	0.3	12.7	0.0	0.6	0.4
糖 尿 病 （ 耐 糖 能 障 害 ）	血 液 生 化 学	男	14.3	4.3	0.5	5.4	12.9	3.9	0.4	5.0
		女	13.3	1.3	0.9	1.9	11.6	1.3	0.9	1.8
血 液 疾 患	血 液 生 化 学	男	7.4	0.0	2.8	0.0	8.9	0.0	3.5	0.1
		女	16.1	0.0	4.8	0.7	16.9	0.0	4.6	0.6
肛 門 ・ 大 腸 疾 患	便 潜 血 反 応	男	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	6.0	0.1
		女	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0
前 立 腺 疾 患	P S A 検 査	男	0.0	0.0	6.5	0.2	0.1	0.0	6.5	0.1
		女	－	－	－	－	－	－	－	－
婦 人 科	婦 人 科	男	－	－	－	－	－	－	－	－
		女	19.4	0.7	4.8	1.4	19.9	0.6	5.3	1.6
乳 房 疾 患	触 診・超音波 マンモグラフィ	男	－	－	－	－	－	－	－	－
		女	9.5	0.0	1.4	0.0	6.6	0.0	1.4	0.0
その他の疾患		男	30.8	0.0	8.7	1.8	32.8	0.0	7.8	1.8
		女	24.7	0.0	6.2	2.4	26.1	0.0	5.6	2.4

- 平成 29 年度（第 2 期）の検査対象疾患別の判定結果で「要精密検査（D2）」と判定された割合が高い疾患は、男性では①前立腺疾患、②肛門・大腸疾患、③肝機能障害（脂肪肝含）、女性では①肛門・大腸疾患、②婦人科、③血液疾患であった。
- 「生活習慣の改善ならびに経過観察が必要（C）」と判定された割合が高い疾患は、男性では、①肝機能障害（脂肪肝含）、②肥満（過体重）、③胆石・胆のうポリープ、④高コレステロール、⑤胃疾患。
女性では、①胃疾患、②高コレステロール、③胆石・胆のうポリープ、④婦人科、⑤血液疾患であった。食事や運動などの生活習慣に関連した、高コレステロール、肝機能障害、さらには糖尿病などの割合も引き続き高かった。

2. 特定保健指導実施状況

平成28年度（第5期）までは、ウェルネス開発室で実施していたが、平成29年度（第2期）から、健診センターに保健指導チームを創設し実施。

特定保健指導実施人数：2017年4月1日～2018年3月31日までの初回支援実施者

<積極的支援> (人)

	実 施	完 了	中断・中止	支援中
人 数	3	－	0	3

<動機付け支援> (人)

	実 施	完 了	中断・中止	支援中
人 数	7	1	0	6

3. 調査研究活動

人間ドック等から得られるデータについて、公衆衛生の向上に資する調査研究および知見の普及啓発に取り組んでいる。

(1) 論文、報告書、出版物などの報告・発行

著 者 名	題 名	掲載誌名・発行月
内田 賢、堀内久美子、 三本 麗、大橋仁志、 木下智樹、神尾麻紀子、 武山 浩	乳房濃度に対する年齢の関与	日本乳癌検診学会誌 26(2), 200-203(2017)
Nogi, H., Uchida, K., Mimoto, R., Kamio, M., Shioya, H., Toriumi, Y., Suzuki, M., Nagasaki, E., Kobayashi, T., Takeyama, H.	Long-Term Follow-Up of Node-Negative Breast Cancer Patients Evaluated via Sentinel Node Biopsy After Neoadjuvant Chemotherapy.	Clin Breast Cancer. 2017 Dec;17(8):644-649. doi:10.1016/j.clbc. 2017.05.002. 2017 May 8. [Epub ahead of print(2017)]
北濃成樹、角田憲治、 甲斐裕子、神藤隆志、 内田 賢、小野寺由美子、 朽木 勤、永松俊哉	勤労者における余暇身体活動の実践パターンの違いが1年後の主観的睡眠感に及ぼす影響	体力研究 115, 15-22 (2017)
Yuko, K., Naruki, K., Toshiya, N., Tsutomu, K., Yumiko, O.	Reliability and validity of the Sedentary Lifestyle Questionnaire for Japanese (SLQ-J)	体力研究 115, 23-29 (2017)
Miyake, R., Kinoshita, S., Shimada, N., Uchida, K., Takeyama, H., Morikawa, T.	Preservation of the nipple-areola complex in skin-sparing mastectomy for early breast cancer.	Surgery Today 2018 Feb 21. [Epub ahead of print(2018)]

(2) 学会・研究会の発表

著 者 名	題 名	学会・研究会・開催地・月	掲載誌名・発行年
野木裕子、工藤 麗、 石垣貴之、井廻良美、 神尾麻紀子、加藤久美子、 塩谷尚志、鳥海弥寿雄、 内田 賢、武山 浩、 森川利昭、大木隆生	術前化学療法とセンチネ ルリンパ節生検による腋 窩郭清回避の試み	第117回日本外科学会 定期学術総会 横浜 4月	第117回日本外科学会 定期学術集会抄録集 PS-153-3 (2017)
神尾麻紀子、工藤 麗、 井廻良美、加藤久美子、 野木裕子、塩谷尚志、 鳥海弥寿雄、内田 賢、 武山 浩、大木隆生	非浸潤性乳管癌の臨床病 理学的因子と予後の検討 治療省略への警鐘	第117回日本外科学会 定期学術総会 横浜 4月	第117回日本外科学会 定期学術集会抄録集 PS-157-7 (2017)
甲斐裕子、北濃成樹、 永松俊哉、内田 賢	身体活動が1年後の presenteeism (プレゼン ティーズム) に及ぼす影響	第90回日本産業衛生学会 東京 5月	産業衛生学雑誌 59 (臨時増刊号) 328 (2017)
北濃成樹、角田憲治、 甲斐裕子、神藤隆志、 内田 賢、朽木 勤、 小野寺由美子、永松俊哉	歩行の目的によって主観 的睡眠の質に及ぼす影響 は異なるのか?～勤労者 を対象にした3年間の縦 断研究～	第20回日本運動疫学会 学術総会 兵庫 6月	第20回日本運動疫学会 学術総会抄録集 37 (2017)
三宅 亮、木下智樹、 島田直子、平野明夫、 内田 賢、武山 浩	SSMの観点からNSMへ の移行の可能性を検証す る	第25回日本乳癌学会 学術総会 福岡 7月	第25回日本乳癌学会 総会プログラム抄録集 278 (2017)
野木裕子、神尾麻紀子、 三本 麗、野坂涼子、 石垣貴之、井廻良美、 塩谷尚志、鳥海弥寿雄、 内田 賢、富田祥一、 永崎栄次郎、小林 直、 鈴木正章、武山 浩	術前化学療法後一次再建 は予後へ影響を及ぼさな い	第25回日本乳癌学会 学術総会 福岡 7月	第25回日本乳癌学会 総会プログラム抄録集 279 (2017)
工藤 麗、永崎栄次郎、 石垣貴之、井廻良美、 神尾麻紀子、野木裕子、 塩谷尚志、鳥海弥寿雄、 内田 賢、武山 浩	Stage4乳癌に対する原発 巣切除の意義を検討する	第25回日本乳癌学会 学術総会 福岡 7月	第25回日本乳癌学会 総会プログラム抄録集 325 (2017)
木下智樹、三宅 亮、 島田直子、平野明夫、 内田 賢、武山 浩	肉芽腫性乳腺炎の1例	第25回日本乳癌学会 学術総会 福岡 7月	第25回日本乳癌学会 総会プログラム抄録集 666 (2017)
小野寺由美子、 塙 智史、北川瑛梨子、 甲斐裕子、北濃成樹、 永松俊哉、朽木 勤、 町田修一	就業時間内の短時間の軽 体操が勤労者の気分にあ 及ぼす効果：リラックスお よびリフレッシュ体操の比 較	第58回日本人間ドック学会 学術大会 埼玉 8月	人間ドック 32(2), 356 (2017)

著 者 名	題 名	学会・研究会・開催地・月	掲載誌名・発行年
埴 智史、小野寺由美子、 北川瑛梨子、甲斐裕子、 北濃成樹、永松俊哉、 朽木 勤	就業時間内における短時間 の軽体操実践が勤労者の 身体的・心理的疲労度 に及ぼす効果	第58回日本人間ドック学 会学術大会 埼玉 8月	人間ドック 32(2), 356 (2017)
山下陽子、芝田なおみ、 薬師神道子、萩原正宏、 江川賢一、朽木 勤、 中田希代子、進藤 仁、 内田 賢	当健診センターのスーパー ノーマル受診者について	第58回日本人間ドック学 会学術大会 埼玉 8月	人間ドック 32(2), 364 (2017)
小野寺由美子、朽木 勤、 北濃成樹、埴 智史、 甲斐裕子、永松俊哉、 町田修一	座位・身体活動の置き換 えと体格との関連	第36回日本臨床運動療 法学会学術集会 大阪 9月	第36回日本運動療学会 学術集会プログラム・ 抄録集 82 (2017)
角田憲治、北濃成樹、 相馬優樹、甲斐裕子、 内田 賢、朽木 勤、 小野寺由美子、永松俊哉	首都圏在住高齢者におけ る歩行移動と地理的環境 との縦断的関連	第72回日本体力医学会 愛媛 9月	The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine 6(6), 491 (2017)
北濃成樹、小野寺由美子、 朽木 勤、甲斐裕子、 埴 智史、神藤隆志、 角田憲治、永松俊哉	勤労者における身体活動 強度や実践時間帯と主観 的睡眠の質の関連性	第72回日本体力医学会 愛媛 9月	The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine 6(6), 526 (2017)
小野寺由美子、朽木 勤、 北濃成樹、埴 智史、 甲斐祐子、永松俊哉、 町田修一	高齢者における座位行動 時間とストレスとの関連	第72回日本体力医学会 愛媛 9月	The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine 6(6), 538 (2017)
甲斐裕子、北濃成樹、 角田憲治、朽木 勤、 内田 賢、永松俊哉	座位行動は勤労者のメン タルヘルスに影響する か？	第72回日本体力医学会 愛媛 9月	The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine 6(6), 543 (2017)
小野寺由美子、朽木 勤、 北濃成樹、埴 智史、 甲斐祐子、永松俊哉、 町田修一	座位行動・身体活動時間 の置き換えが勤労者のメン タルヘルス、労働生産 性、集団的効力感に及ぼ す影響	第15回日本運動処方学会 大会 兵庫 10月	第15回日本運動処方学会 大会予稿集 22 (2017)
Uchida, K., Kitano, N., Ohashi, H., Nogi, H., Mimoto, R., Kamio, M., Takeyama, H.	Factors associated with mammographic density in Japanese women.	The 40th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium San Antonio Dec.	The 40th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium Program 3-10, 18 (2017)
北濃成樹、甲斐裕子、 角田憲治、朽木 勤、 内田 賢、永松俊哉	座位行動と身体活動 の置き換えによる Cardiometabolic Risk Factor への影響：健診セ ンターでの3軸加速度計 の導入	日本総合健診医学会第 46回大会 愛知 1月	総合健診 45(1): 231 (2018)

(3) 講演会

年	月	演者	題名	主催	対象者
2017	9	内田 賢	乳がん検診と治療法	総務省統計局	職員

(4) ホームページによる健康情報発信

<健康のひけつ>

No.	年	月	題 名	執筆者名
1	2017	6	あなたのカラダを知ってますか？	米澤裕子
2	2017	6	グルテンフリーって何？	兵頭有香 藤田美穂
3	2017	7	早歩きってどれくらいの速さ？	江夏直子
4	2017	8	糖質制限食って？	兵頭有香 藤田美穂
5	2017	9	新たな基準 non HDL-コレステロールとは？	中田希代子
番外編 (1)	2017	10	突撃！隣のご飯	兵頭由香
6	2017	11	インフルエンザワクチン接種とは？	米澤裕子
7	2017	12	ロコモになっていませんか？	江夏直子
番外編 (2)	2018	1	突撃！隣のご飯	兵頭有香 江夏直子 藤田美穂
8	2018	1	乳がん 検診はなぜ必要？ 乳がん検診～高濃度乳房～とは？	内田 賢
9	2018	2	かしこい生姜の食べ方	兵頭有香 藤田美穂

<健康づくりウォッチ>

No.	年	月	題 名	執筆者名
2	2017	6	電子タバコは健康的？	山下陽子
11	2018	3	乳がんと遺伝	内田 賢

Ⅱ．理事会に関する事項

一般財団法人 明治安田健康開発財団

平成 29 年 6 月 12 日（月曜日）午後 4 時 40 分、東京都新宿区西新宿 2-2-1 京王プラザホテルにおいて、理事会を開催

会 議 の 目 的 事 項

決議事項

なし

報告事項

職務執行状況報告の件

総理事数及び出席理事数

- (1) 総理事数 5 名
- (2) 出席理事数 5 名

出席理事

池辺 洋氏、内田 賢氏、朽木 勤氏、熊井 毅氏、中熊一仁氏

出席監事

鈴木竹夫氏、水野 剛氏、浅野芳一氏

議

事

1. 開会に先立ち、池辺事務局長より、現在の総理事数 5 名のうち、本日の出席理事数は 5 名であり、定款第 33 条第 1 項の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
2. 理事長中熊一仁氏は、議長を務める旨を述べ全員の賛同を得て、開会を宣した。
3. 議長は、第 1 号報告第 1 号議案「職務執行状況報告の件」を上議し資料配布して報告した。

以上をもって議事を終了したので、午後 4 時 50 分、議長は閉会を宣した。

理 事 会 議 事 録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

平成 30 年 3 月 20 日（火曜日）午前 10 時 30 分、東京都新宿区西新宿 1-9-1 明治安田生命新宿ビル 3F において、平成 30 年 3 月定例理事会を開催

会 議 の 目 的 事 項

決議事項

第 1 号議案 平成 30 年度（第 3 期）事業計画・収支予算の件

報告事項

第 1 号報告 職務執行状況の件

総理事数及び出席理事数

(1) 総理事数 5 名

(2) 出席理事数 4 名

出席理事

中熊一仁氏、池辺 洋氏、内田 賢氏、熊井 毅氏

出席監事

鈴木竹夫氏、浅野芳一氏

議

事

1. 開会に先立ち、池辺事務局長より、現在の総理事数 5 人のうち、本日の出席理事数は 4 人であり、定款第 33 条第 1 項の規定によって本日の理事会は有効に成立した旨を報告した。
2. 理事長中熊一仁氏は、定款第 32 条の規定により、議長を務める旨を述べて開会を宣した後、定款第 34 条の規定に従って、本理事会の議事録を作成のうえ、理事長及び監事が記名押印することを述べた。
3. 議長は、第 1 号議案「平成 30 年度（第 3 期）事業計画及び収支予算の件」を上議し、議長は、予算案を配付して、平成 30 年度の経営目標と実行計画について説明した。
議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決された。
4. 議長は、第 1 号報告「職務執行状況の件」につき、資料配布して報告した。

以上をもって議事を終了したので、11 時 30 分、議長は閉会を宣した。

一般財団法人明治安田健康開発財団

みなし決議に関する理事会議事録

1. 理事会の決議があったものとみなされた日
平成 29 年 5 月 26 日
2. 理事会の決議があったものとみなされた事項の提案者
理事長 中熊一仁
3. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第 1 号議案 第 1 期計算書類等の承認の件
第 2 号議案 定時評議員会招集の件
4. 理事総数 4 名
監事総数 2 名
5. 議事録の作成に係る職務を行った理事
理事長 中熊一仁

平成 29 年 5 月 16 日、理事長中熊一仁が理事の全員及び監事の全員に対して、理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき平成 29 年 5 月 26 日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 96 条（定款第 33 条第 2 項）に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

一般財団法人明治安田健康開発財団

みなし決議に関する理事会議事録

1. 理事会の決議があったものとみなされた日
平成 29 年 10 月 31 日
2. 理事会の決議があったものとみなされた事項の提案者
理事長 中熊一仁
3. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
第 1 号議案 中期経営計画の件
4. 理事総数 5 名
監事総数 2 名
5. 議事録の作成に係る職務を行った理事
理事長 中熊一仁

平成 29 年 10 月 17 日、理事長中熊一仁が理事の全員及び監事の全員に対して、理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき平成 29 年 10 月 31 日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を、監事の全員から書面により異議がないとの意思表示を得たので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 96 条（定款第 33 条第 2 項）に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

Ⅲ. 評議員会に関する事項

評 議 員 会 議 事 録

一般財団法人 明治安田健康開発財団

平成 29 年 6 月 12 日(月曜日)午後 4 時 30 分、東京都新宿区西新宿 2-2-1 京王プラザホテルにおいて、
評議員会を開催

会 議 の 目 的 事 項

(1) 決議事項

- 第 1 号議案 第 1 期計算書類等の承認の件
- 第 2 号議案 理事 1 名選任の件
- 第 3 号議案 監事 1 名選任の件
- 第 4 号議案 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の改正の件

(2) 報告事項

- 第 1 号報告 第 1 期事業報告の内容報告の件

総評議員数及び出席評議員数

- (1) 総評議員数 4 名
- (2) 出席評議員数 4 名

出席評議員

阪本要一氏、下門顯太郎氏、上坊敏子氏、室山尚子氏

議 事

1. 定款 18 条の規定に従って、評議員の互選により評議員上坊敏子氏を議長に選任し、議長は定款第 20 条の規定に従い、評議員阪本要一氏及び評議員室山尚子氏を議事録署名人に指名し、両氏はこれを承諾した。
2. 議長は、第 1 号議案「第 1 期計算書類等の承認の件」、および第 1 号報告「第 1 期事業報告の内容報告の件」を上議し、まず第 1 期事業報告の内容を報告した。決算の内容については健診事業の開始は 4 月 1 日のため収入、支出の主なもの、正味財産増減額を説明した。
議長は審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、別紙のとおり承認可決した。
3. 議長は、第 2 号議案「理事 1 名選任の件」につき、別紙評議員会第 2 号議案の記載のとおり朽木勤氏を新たに選任したい旨を述べ、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、議案のとおり承認可決した。

4. 議長は、第3号議案「監事1名選任の件」につき、現監事水野 剛氏が本日付をもって監事を辞任するとの申出があったので別紙評議員会第3号議案の記載のとおり浅野芳一氏を新たに選任したい旨を述べ、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、議案のとおり承認可決した。
 5. 議長は、第4号議案「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の改正の件」につき、別紙評議員会第4号議案の記載のとおり改正したい旨を述べ、審議を求めたところ、質疑応答の後、全員異議なく賛成し、議案のとおり承認可決した。
- 議長は、第1号報告「第1期事業報告の内容報告の件」については、第1号議案審議にて説明したので、省略した。

以上をもって議事を終了したので、午後4時45分、議長は閉会を宣した。

Ⅳ 寄附に関する事項

第2期は、明治安田生命保険相互会社から下記のとおり寄附を受けた。

受領年月日	金額（円）
平成30年4月18日	157,000,000

第 2 期 決 算 報 告

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

I. 貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現 金 預 金	21,522,058	64,330,230	- 42,808,172
未 収 金	87,078,493		87,078,493
前 払 金	8,296,073	8,498,809	- 202,736
貯 蔵 品	1,281,294		1,281,294
流 動 資 産 合 計	118,177,918	72,829,039	45,348,879
2. 固 定 資 産			
(1) 基本財産			
普 通 預 金	3,000,000	3,000,000	0
基 本 財 産 合 計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	40,926,268		40,926,268
特 定 資 産 合 計	40,926,268	0	40,926,268
(3) その他固定資産			
建 物 附 属 設 備	27,517,102		27,517,102
什 器 備 品	74,366,232		74,366,232
ソ フ ト ウ ェ ア	20,934,080		20,934,080
その他固定資産合計	122,817,414	0	122,817,414
固 定 資 産 合 計	166,743,682	3,000,000	163,743,682
資 産 合 計	284,921,600	75,829,039	209,092,561
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	26,021,754	3,224,382	22,797,372
預 り 金	3,804,580	1,602,517	2,202,063
未 払 法 人 税 等	70,000	23,300	46,700
賞 与 引 当 金	13,181,557		13,181,557
流 動 負 債 合 計	43,077,891	4,850,199	38,227,692
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	40,926,268		40,926,268
固 定 負 債 合 計	40,926,268	0	40,926,268
負 債 合 計	84,004,159	4,850,199	79,153,960
III 正 味 財 産 の 部			
1. 指定正味財産			
指 定 正 味 財 産 合 計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一 般 正 味 財 産 合 計	200,917,441	70,978,840	129,938,601
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	0
正 味 財 産 合 計	200,917,441	70,978,840	129,938,601
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	284,921,600	75,829,039	209,092,561

Ⅱ．正味財産増減計算書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,033	1	1,032
特定資産受取利息	1,033	1	1,032
事業収益	654,006,938	0	654,006,938
健診事業収益	630,673,173	0	630,673,173
業務受託収益	23,333,765	0	23,333,765
受取寄附金	157,000,000	76,000,000	81,000,000
受取寄附金	157,000,000	76,000,000	81,000,000
雑収益	62,580	0	62,580
雑収益	62,580	0	62,580
経常収益計	811,070,551	76,000,001	735,070,550
(2) 経常費用			
事業費	627,162,959	215,270	626,947,689
役員報酬	2,468,160	0	2,468,160
給料手当	277,792,357	0	277,792,357
法定福利費	27,550,959	0	27,550,959
臨時雇賃金	4,517,186	0	4,517,186
退職給付費用	3,623,867	0	3,623,867
福利厚生費	10,664,418	0	10,664,418
派遣経費	38,976	0	38,976
医薬品・材料費	3,592,393	0	3,592,393
旅費交通費	520,341	0	520,341
通信搬費	15,348,409	0	15,348,409
減価償却費	24,099,994	0	24,099,994
消耗什器備品費	3,513,294	0	3,513,294
消耗品費	22,076,401	0	22,076,401
修繕費	22,184,550	0	22,184,550
保守費	4,999,080	0	4,999,080
印刷製本費	11,624,294	0	11,624,294
研究調査費	1,558,642	0	1,558,642
光熱水料費	6,202,748	0	6,202,748
リース料	3,912,975	0	3,912,975
賃借料	87,759,634	0	87,759,634
不動産管理費	5,544,968	0	5,544,968
不保諸料	110,390	215,270	- 104,880
謝金	316,370	0	316,370
租税公課	64,024	0	64,024
委託費	64,568,144	0	64,568,144
業務推進費	17,366,503	0	17,366,503
雑費	5,143,882	0	5,143,882

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管 理 費	53,898,991	4,782,591	49,116,400
役 員 報 酬	6,295,878	0	6,295,878
給 料 手 当	21,631,651	0	21,631,651
法 定 福 利 費	3,355,141	0	3,355,141
退 職 給 付 費	4,367,677	0	4,367,677
福 利 厚 生 費	1,658,218	0	1,658,218
派 遣 経 費	3,384,360	0	3,384,360
旅 費 交 通 費	120,337	0	120,337
会 議 費	162,279	0	162,279
通 信 運 搬 費	1,000	0	1,000
減 価 償 却 費	911,948	0	911,948
保 守 調 査 費	1,320,072	164,160	1,155,912
研 究 一 入 料	10,000	0	10,000
リ ー ス 料	676,594	0	676,594
保 険 料	397,360	172,970	224,390
諸 謝 金	1,044,635	216,000	828,635
租 税 公 課	109,288	11,700	97,588
支 払 寄 付 金	5,500,000	0	5,500,000
業 務 推 進 費	40,000	0	40,000
委 託 費	2,823,375	0	2,823,375
創 立 費	0	432,074	- 432,074
開 業 費	0	3,783,095	- 3,783,095
雑 費	89,178	2,592	86,586
経常費用計	681,061,950	4,997,861	676,064,089
当 期 経 常 増 減 額	130,008,601	71,002,140	59,006,461
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	130,008,601	71,002,140	59,006,461
法人税、住民税及び事業税	70,000	23,300	46,700
当期一般正味財産増減額	129,938,601	70,978,840	58,959,761
一般正味財産期首残高	70,978,840	0	70,978,840
一般正味財産期末残高	200,917,441	70,978,840	129,938,601
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	200,917,441	70,978,840	129,938,601

正味財産増減計算書内訳表

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	0	1,033	0	1,033
特定資産受取利息	0	1,033	0	1,033
事業収益	654,006,938	0	0	654,006,938
健診事業収益	630,673,173	0	0	630,673,173
業務受託収益	23,333,765	0	0	23,333,765
受取寄附金	0	157,000,000	0	157,000,000
受取寄附金	0	157,000,000	0	157,000,000
雑収益	0	62,580	0	62,580
雑収益	0	62,580	0	62,580
経常収益計	654,006,938	157,063,613	0	811,070,551
(2) 経常費用				
事業費	627,162,959	0	0	627,162,959
役員報酬	2,468,160	0	0	2,468,160
給料手当	277,792,357	0	0	277,792,357
法定福利費	27,550,959	0	0	27,550,959
臨時雇賃金	4,517,186	0	0	4,517,186
退職給付費用	3,623,867	0	0	3,623,867
福利厚生費	10,664,418	0	0	10,664,418
派遣経費	38,976	0	0	38,976
医薬品・材料費	3,592,393	0	0	3,592,393
旅費交通費	520,341	0	0	520,341
通信運搬費	15,348,409	0	0	15,348,409
減価償却費	24,099,994	0	0	24,099,994
消耗什器備品費	3,513,294	0	0	3,513,294
消耗品費	22,076,401	0	0	22,076,401
修繕費	22,184,550	0	0	22,184,550
保守費	4,999,080	0	0	4,999,080
印刷製本費	11,624,294	0	0	11,624,294
研究調査費	1,558,642	0	0	1,558,642
光熱水料費	6,202,748	0	0	6,202,748
リース料	3,912,975	0	0	3,912,975
賃借料	87,759,634	0	0	87,759,634
不動産管理費	5,544,968	0	0	5,544,968
不保険料	110,390	0	0	110,390
租税公課	64,024	0	0	64,024
諸謝金	316,370	0	0	316,370
委託費	64,568,144	0	0	64,568,144
業務推進費	17,366,503	0	0	17,366,503
雑費	5,143,882	0	0	5,143,882

科 目	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
管 理 費	0	53,898,991	0	53,898,991
役 員 報 酬	0	6,295,878	0	6,295,878
給 料 手 当	0	21,631,651	0	21,631,651
法 定 福 利 費	0	3,355,141	0	3,355,141
退 職 給 付 費	0	4,367,677	0	4,367,677
派 遣 経 費	0	3,384,360	0	3,384,360
福 利 厚 生 費	0	1,658,218	0	1,658,218
旅 費 交 通 費	0	120,337	0	120,337
会 議 費	0	162,279	0	162,279
通 信 運 搬 費	0	1,000	0	1,000
減 価 償 却 費	0	911,948	0	911,948
保 守 費	0	1,320,072	0	1,320,072
研 究 調 査 費	0	10,000	0	10,000
リ ー ス 料	0	676,594	0	676,594
保 険 料	0	397,360	0	397,360
支 払 寄 付 金	0	5,500,000	0	5,500,000
諸 謝 金	0	1,044,635	0	1,044,635
業 務 推 進 費	0	40,000	0	40,000
租 税 公 課	0	109,288	0	109,288
委 託 費	0	2,823,375	0	2,823,375
雑 費	0	89,178	0	89,178
経常費用計	627,162,959	53,898,991	0	681,061,950
当 期 経 常 増 減 額	26,843,979	103,164,622	0	130,008,601
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0
他 会 計 振 替 額				
税引前当期一般正味財産増減額	26,843,979	103,164,622	0	130,008,601
法人税、住民税及び事業税	70,000	0	0	70,000
当期一般正味財産増減額	26,773,979	103,164,622	0	129,938,601
一般正味財産期首残高				70,978,840
一般正味財産期末残高				200,917,441
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	0	0	0	200,917,441

Ⅲ. 財務諸表に対する注記

1. この財務諸表は「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）によって作成されています。

2. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品は最終仕入原価法により期末評価を行っています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産及び無形固定資産の減価償却の方法は定額法によっています。

(3) 賞与引当金の計上基準

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

(4) 退職給付引当金の計上基準

従業員に対する退職金の支給に備えるため、退職金規定に基づく期末要支給額を計上しています。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっています。

(6) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、リース会計基準を適用しています。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
	円	円	円	円
基本財産				
普通預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小 計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	0	45,537,748	4,611,480	40,926,268
小 計	0	45,537,748	4,611,480	40,926,268
合 計	3,000,000	45,537,748	4,611,480	40,926,268

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

科 目	前期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
	円	円	円	円
基本財産				
普通預金	3,000,000	－	(3,000,000)	－
小 計	3,000,000	－	(3,000,000)	－
特定資産				
退職給付引当資産	40,926,268	－	－	(40,926,268)
小 計	40,926,268	－	－	(40,926,268)
合 計	43,926,268	－	(3,000,000)	(40,926,268)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
	円	円	円
建 物 附 属 設 備	30,349,326	2,832,224	27,517,102
什 器 備 品	91,332,684	16,966,452	74,366,232
合 計	121,682,010	19,798,676	101,883,334

6. 関連当事者との取引内容

当期は関連当事者である明治安田生命保険相互会社より健診機器等購入資金として寄付金157,000,000円を受領しております。

IV. 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」に記載のとおりです。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期末残高		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	0	27,166,029	13,984,472		13,181,557
退職給付引当金	0	45,537,748	4,611,480		40,926,268

V. 財産目録

平成 30 年 3 月 31 日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	671,427
	預金	普通預金	運転資金として	20,850,631
		三菱東京 UFJ 銀行 新宿中央支店		14,727,383
		八十二銀行 新宿支店		78,088
		広島銀行 東京支店		192,400
		静岡銀行 新宿支店		587,400
		横浜銀行 新宿支店		1,399,005
		東日本銀行 新宿支店		431,489
		肥後銀行 東京支店		95,860
		スルガ銀行 東京支店		169,460
		山梨中央銀行 新宿支店		997,845
		みずほ銀行 新宿新都心支店		2,171,701
	未収金	健診事業に係る未収金等	健診事業に係る未収金等	87,078,493
	前払金	賃借料等の前払金	賃借料等の前払金	8,296,073
	貯蔵品	手元保管	医薬品等の貯蔵品	1,281,294
流動資産合計				118,177,918
(固定資産)				
基本財産	預金	普通預金	最低純資産額の維持・確保を目的とする財産	3,000,000
		三菱東京 UFJ 銀行 新宿中央支店		3,000,000
特定資産				40,926,268
	退職給付引当資産	普通預金	退職金支払いの資金として管理されている預金	40,926,268
		三菱東京 UFJ 銀行 新宿中央支店		
その他固定資産				122,817,414
	建物附属設備	東京都新宿区西新宿 1-8-3	各事業の用に供している	27,517,102
	什器備品			74,366,232
	ソフトウェア			20,934,080
固定資産合計				166,743,682
資産合計				284,921,600

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動負債)	未払金	健診機器・システム 納入業者に対する未 払金等	健診事業の用に供する什 器備品・消耗品の購入、 外注検査費の未払い分等	26,021,754
	未払金			26,021,754
	預り金	従業員等からの預り 金	従業員等から源泉徴収し た社会保険料等の預り金	3,804,580
	賞与引当金	従業員に対するもの	従業員 21 名に対する賞 与の支払いに備えたもの	13,181,557
	未払法人税等	未払法人税等	未払法人税等	70,000
流動負債合計				43,077,891
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員 19 名に対する退 職金の支払いに備えたも の	40,926,268
固定負債合計				40,926,268
負債合計				84,004,159
正味財産				200,917,441

Ⅵ. 監査報告書

監査報告書

平成 30 年 5 月 8 日

一般財団法人 明治安田健康開発財団

理事長 中 熊 一 仁 殿

監事

鈴木 行夫 

監事

浅野 芳一 

私たち監事は、当財団の平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの第 2 期事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 99 条第 1 項（同法 197 条において準用する第 99 条第 1 項）の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当財団の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当事業年度に係る事業報告を監査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

第 3 期 事 業 計 画

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

I. 基本方針

平成30年度は、人間ドック（健診）事業において、広く一般の健康増進に寄与するため、健診の普及啓発を推進するほか、明治安田厚生事業団と連携して、健診データ等を活用した調査研究と健康増進の推進に取り組む。

特に「座り過ぎ」と「活発度」を測定する「MYライフ・ドック」は、測定人数の拡大に取組み、明治安田厚生事業団との連携強化を図り、人間ドックの付加価値の向上に努める。

人間ドックでは、健診精度、健診技術の向上を図るとともに、健診の普及啓発活動を推進する。

受信者数の増加に向けて新たに協会けんぽを導入する。昨年度から実施の午後健診の拡充にも努める。

II. 実行計画

1. 健診精度の向上および職員のスキルアップ支援

- (1) 健診施設優良認定のレベルアップ
- (2) 職員スキルアップのための研修会等への参加奨励、関係資格取得のための支援強化、および社内研究会・研修会の計画的実施

2. 受診者数と健診収益を増大させるための諸対策の実施

- (1) 継続受診率の向上にむけた、初回受診者の継続受診勧奨、階層別傾向分析による有効なサービスの実施や、健診項目を掲載したDM等の発信を通じた複数回受診者リピート率の維持拡大を図る
- (2) 新規受診者獲得へ、既契約団体の深耕と新規団体の開拓、個別サービスの提案とあわせて、ホームページの充実やWeb予約の強化を図る
- (3) 午後の時間を活用した人間ドックと単科健診（乳ガン検診・婦人科検診）を推進するとともに、協会けんぽの新規導入で、多様な受診者ニーズに対応

3. 健康増進・疾病予防に関するアフターフォローの推進

- (1) 健診時におけるリスクスクリーニングによる未病、予防の取組
- (2) 健診結果に基づく、精密検査・再検査の勧奨や健康情報の提供を目的とした健診結果改善分科会によるフォロー強化
- (3) 健診の当日結果説明の充実、運動・栄養・医師による保健指導の強化
- (4) 健保からの要請に対応できる特定保健指導体制の構築

4. 事務リスクの縮減と健診サービス向上の推進

- (1) 円滑で効率的な事務運営と事務リスク縮減を図るために運営体制改革分科会の強化
- (2) お客様満足度の一層の向上を目的とした顧客対応向上分科会の運営強化

5. 明治安田厚生事業団との調査研究活動の連携による健康増進の推進

- (1) ウェルネス開発室との連携による健康経営推進団体への支援実施
- (2) 「MYライフ・ドック」の社内・社外への積極的実施勧奨で、調査研究活動の拡充を図り、人間ドックの付加価値の向上を図る
- (3) 人間ドックリソースを活用した、医師等による論文発表・学会報告・後援会開催やホームページへの健康情報の発信

Ⅲ. 収支予算書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位：千円)

科 目	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0		0
基本財産受取利息	0	0		0
特定資産運用益	0	1		1
特定資産受取利息	0	1		1
事業収益	668,000	0		668,000
健診事業収入	630,000	0		630,000
業務受託収入	38,000	0		38,000
受取寄付金	0	0		0
受取寄附金	0	0		0
雑収益	0	0		0
雑収益	0	0		0
経常収益計	668,000	1	0	668,001
(2) 経常費用				
事業費	616,622			616,622
給料手当	288,694			288,694
法定福利費	27,631			27,631
臨時雇賃金	2,852			2,852
退職給付費用	2,169			2,169
福利厚生費	9,912			9,912
旅費交通費	473			473
通信運搬費	17,394			17,394
減価償却費	28,194			28,194
消耗什器備品費	1,073			1,073
消耗品費	26,423			26,423
修繕費	8,628			8,628
保守費	5,835			5,835
印刷製本費	8,923			8,923
研究調査費	1,356			1,356
光熱水料	6,223			6,223
リース料	3,452			3,452
賃借料	81,150			81,150
不動産管理費	5,129			5,129
保険料	313			313
租税公課	1,126			1,126
委託費	69,463			69,463
業務推進費	15,678			15,678
諸謝金	111			111
雑費	4,421			4,421

科 目	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
管 理 費		48,608		48,608
役 員 報 酬		160		160
給 料 手 当		29,735		29,735
法 定 福 利 費		3,617		3,617
退 職 給 付 費		814		814
福 利 厚 生 費		1,452		1,452
旅 費 交 通 費		79		79
会 議 費		150		150
通 信 運 搬 費		55		55
減 価 償 却 費		1,169		1,169
消 耗 什 器 備 品 費		50		50
消 耗 品 費		16		16
保 守 費		1,347		1,347
印 刷 製 本 費		445		445
研 究 調 査 費		9		9
リ ー ス 料		679		679
保 険 料		347		347
支 払 助 成 金		5,500		5,500
諸 謝 金		1,284		1,284
租 税 公 課		74		74
委 託 費		1,394		1,394
雑 費		232		232
経 常 費 用 計	616,622	48,608	0	665,230
当 期 経 常 増 減 額	51,378	- 48,607	0	2,771
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経 常 外 収 益 計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	51,378	- 48,607	0	2,771
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高				200,917
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高				203,688
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	0
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0	203,688

役員・評議員名簿

役 員 名 簿

理 事 長 中 熊 一 仁

理 事 内 田 賢

 熊 井 毅

 池 辺 洋

 朽 木 勤 兵庫大学 教授

監 事 鈴 木 竹 夫 公認会計士・税理士

 浅 野 芳 一 明治安田生命保険相互会社関連事業部長

評 議 員 名 簿

阪 本 要 一 東京慈恵会医科大学 客員教授

下 門 顯太郎 東京医科歯科大学 名誉教授

上 坊 敏 子 独立行政法人 地域医療機能推進機構相模野病院
 婦人科診療顧問
 北里大学医学部 客員教授

室 山 尚 子 明治安田生命東京診療所所長

